

まえがき

2

## 第一章 「生まれる前からの記憶」

「お空にフワフワ浮いてたよ」	12
「お空のおじいさん」	13
「ねえねえに会いたかったの」	15
「宿ってからのこと」	17

ちよつとプレイクタイム

胎内記憶〜次女編 1

20



## 第二章 「はてな？ なことばかり」

「地球での食べ物」	28
「意味不明な宇宙文字」	31
「あいさつの仕方？ 目を閉じる意味」	33
「独特な言葉の言い回し」	36
「それでも粋にはめられて」	37

ちよつとプレイクタイム

胎内記憶く次女編2

40

### 第三章 「不安、不安、涙」

「わかってよ」	48
「気づいてくれないもどかしさ」	50
「全てから逃げる」	53
「見て見ぬフリ（途方にくれて）」	60

ちよっとプレイクタイム

中間生記憶〜次女編3

64



## 第四章 「やっどわかってきたこと」

- 「受容してもらええる喜び」……………74
- 「さて」……………77
- 「腹立つものは腹立つわけで」……………80
- 「受け入れてもらえない」……………83
- 「それでも生きてゆく」……………87

ちよつとプレイクタイム

私、心愛の胎内記憶

90

第五章 「もう考えるのやーめた」

「なるようにしかならん」 ..... 96

「やっと子を受け入れられた」 ..... 103

「人の目？ 学校の意見？ くそくらえ！」 ..... 107

「幸せであること」 ..... 113

「私の気持ち、子の気持ち」 ..... 114

ちょっとプレイクタイム

あなたやっぱり宇宙人ね？

118

あとがき

122